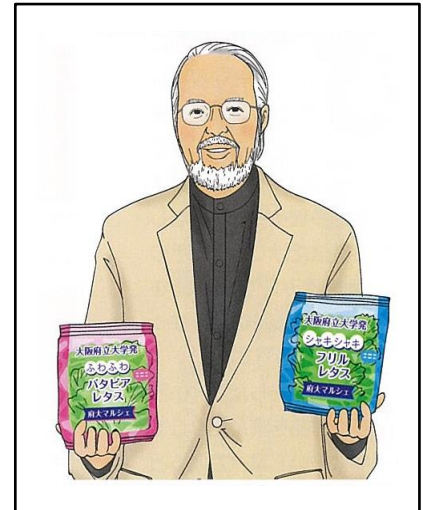


ふりがな ご氏名	ますだ のぼる
	増田 昇
企業・団体名	公立大学法人大阪府立大学
所属 (企業・団体の)	植物工場研究センター
役職	センター長



ご略歴	<p>1952年大阪に生まれ、77年に大阪府立大学大学院修士課程を修了する。大学院修了後、77年から85年の間、民間コンサルタンツに勤務。85年には大阪府立大学農学部の助手に転職し、97年に教授になり、2015年から生命環境科学研究科の研究科長と植物工場研究センター長を兼務する。2017年3月に定年退官し、現在は、大阪府立大学の名誉教授で植物工場研究センター長を務めている。</p> <p>日本造園学会会長や日本都市計画学会副会長等を歴任。大阪府農業振興地域整備審議会等の審議会委員、一般財団法人都市農地活用支援センター理事に就任している。</p>
専門および 得意な分野・研究	<p>専門はランドスケープ・アーキテクチャー（緑地学）。近年、都市農業の振興や農村の再生に係わる研究に従事し、中でも、都市農業における植物工場、特に、人工光型植物工場の今後の展開論を研究している。</p>
セミナータイトル	<p>都市における人工光型植物工場の多様な展開の可能性 ーランドスケープの視点からー</p>
セミナー概要	<p>(※300文字程度でご記入お願い致します。)</p> <p>地球規模での環境問題や都市化が急速に進展する中で、都市における農業の意義や役割が注目されている。特に、多段式の栽培が可能となるコンパクトな人工光型植物工場が注目される中で、その現状の理解と今後の多様な展開の可能性を探ってみる。</p> <p>講義の具体的な内容を以下に示す。①都市における農業の意義や役割、特に施設農業について、②植物工場、特に、人工光型植物工場をめぐる現状と課題、③大阪府立大学植物工場研究センターを事例とした人工光型植物工場の特徴、④人工光型植物工場の都市における展開の基本的枠組み、⑤多様な展開の可能性：i スマート農業の視点、ii 高付加価値型生産の視点、iii 資源循環の視点、iv オンデマンド型生産の視点、v SDGsの視点、vi その他デザイン面から</p>
ご講演中の キーワード	<p>(*ご講演中に出てくる重要単語などを4～8個程度を目安にご記入お願いいたします)</p> <p>人工光型植物工場、都市農業、スマート農業、資源循環、6次産業化、SDGs、ランドスケープデザイン</p>
本セミナーで 習得できること	<p>(記入例：・〇〇の基礎知識 など箇条書きで3～6個程度を目安にお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市における新たな農業展開として人工光型植物工場の今後の展開論が理解できる</li> <li>・人工光型植物工場の多様な展開の可能性の中で、スマート農業の視点、SDGsの視点、都市における物質循環やデザイン面から見た可能性を探ることできる</li> </ul>

